



★特集

# スポーツの力

スポーツの力は計り知れない。  
 スポーツをすれば、自身の体力増進や健康維持に。  
 チームプレイであれば、仲間との絆を育む。  
 自分の限界や自己ベストに挑戦すれば、精神力が鍛えられる。  
 スポーツの力は、スポーツをする人だけのものではない。  
 見る人に感動を与えたり、元気を生み出したりする。  
 スポーツの力は絶大だ。  
 来年10月から岩手県で開かれる「希望郷いわて国体」と  
 障がい者スポーツの祭典「希望郷いわて大会」。  
 46年ぶりに全国のアスリートが、ここ岩手に集結する。  
 市内では、リハーサル大会が開かれるなど準備は本格化。  
 開催への機運も高まっている。  
 今号では、この夏に市内各地で行われた各大会に密着し、  
 選手の活躍や関係者の思いをレポート。  
 スポーツに宿る力をクローズアップする。

あい **な人** File\_34  
 いちのせきを愛する人

チームひらさわ代表/産直カフェ経営

**熊谷志江さん**  
 Kumagai Yukie 50 弥栄



移住女性が地域を牽引  
 空き家の古民家を産直カフェに

先月、弥栄の平沢地区に産直カフェが開店した。地元産の新鮮な野菜、軽食、雑貨を販売しながら、地域交流の拠点を目指す。仕掛け人は、10年前に埼玉県から移住してきた熊谷志江さん。

志江さんの経歴は多彩だ。短大でグラフィックデザインを専攻。20代は勤めていた服飾メーカーで仕入れ、販売、広報宣伝やマーケティングを学んだ。30代から40代にかけては、原価計算や経理を経験して数字に強くなった。「その頃の経験が今の礎になっている」と振り返る。1995年、会社の同僚だった直也さんと出会い結婚。2005年、一関に移住した。慣れない環境に戸惑ったが、豊かな自然や住民の温かい人柄に触れるうちに、平沢地区が大好きになっていった。

ある日、地元産の野菜が消費しきれずに捨てられているのを見て「もったいない」と感じた。産直カフェという形で、平沢の農産物を提供できないか。今年、地区の新年会でその構想を話すと、多くの住民が賛同。有志で「チームひらさわ」を結成した。メンバーは、建築会社の社員、研究機関の職員や区長など各方面のエキスパート。アイデアを出し合い、空き家だった古民家を洋風に改装した。フローリングやウッドデッキはメンバーの手作り。しっくいの内壁は弥栄小の児童らが塗ってくれた。地域の強力なサポートを得て、わずか9カ月で

開店までこぎ着けた。「皆さんが支えてくれたおかげ」と感謝する。

店のコンセプトは「ゆるく地産地消」。市内産であることにはこだわらず、東京の雑貨など、気に入ったものは店に取り入れていく。座右の銘は「明日は明日の風が吹く」。物事は常に変化していくから、一つのことにとらわれない。「この店を中心に、平沢を若い女性が楽しんで暮らせる地域にしたい」と話す。肩肘をはらず、地域の住民と一緒に、ゆっくり歩いていく。

## Profile

1965年、埼玉県浦和市(現さいたま市)生まれ。服飾メーカーなどに勤務していた。1995年に結婚。2005年、夫のUターンで一関へ移住。地域の協力を得て、先月から産直カフェの経営を始める。2児の母。趣味は温泉巡り。

## 准看護師から看護師へ

27年4月より新校舎  
 『東北福祉大学  
 仙台駅東口キャンパス』へ移転!  
 看護師養成所  
 2年課程  
 【通信制】

●お問合せ・お申込み 【教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座(条件あり)】

## 学校説明会 日程

28年4月入学生募集中!  
 11/8 盛岡会場 14:00~16:00  
 ◆放送大学岩手学習センター(岩手大学内) ※事前申込が必要

出願期間 第2次 第6次 9月1日(火)~3月17日(木) H28



東北福祉看護学校 TOHOKU FUKUSHI NURSING SCHOOL 〒983-8511 宮城県仙台市宮城野区榴岡2丁目5番26号  
 ◆TEL:022-292-2511 ◆URL:http://tohoku-kango.com/ ◆FAX:022-292-2611 ◆進学相談ダイヤル:022-207-8810